

総合球技場基本計画検討委員会の検討内容等について

◇ 検討に当たっての考え方

- 整備・運営に対する県民負担の最小化を図るため、P F I方式の導入を前提に検討し、本県にふさわしい施設の規模や外部資金の活用等によるイニシャルコストの低減、運営収支の改善に向けた収入確保策等を検討する。
- また、利用の最大化を図るため、全国トップレベルの競技が観戦できる施設としてだけでなく、アマチュアの大会や様々なイベントでの活用に加え、バリアフリーやユニバーサルデザインにも十分配慮し、誰もが利用できる「県民みんなの球技場」として整備・運営が図られるよう検討するとともに、小瀬スポーツ公園全体の更なる有効活用方策も併せて検討する。

◇ 主な検討項目等

- 現地視察（先進地のスタジアム）
- 施設の規模・機能の検討（利用促進策を含む）
- 小瀬スポーツ公園全体の更なる有効活用方策の検討
- イニシャルコストの低減策、収入確保策の検討
- 事業化手法の検討
- 概算建設費、運営収支、スケジュールの検討